

【明けましておめでとうございませう】

さあ、スタートを大切に……！

二〇二五年、乙巳年が始まりました。南中生のみなさんは、どんな冬休みを過ごしましたか。充実した時間だったことでしょうか。新年を迎えるにあたり、みなさんはどのような目標を立てたでしょうか。『**一年の計は元日にあり**』。終業式でもお話ししましたが、どんなものでもいい、**自分自身の今年の目標を、より具体的な目標を持つことはとても大切なことです。**年頭に当たり自分自身が決めた目指すものをぜひレポートにして教えてくださいね。楽しみにしています。

さて今年のお正月は元日、二日と比較的穏やかな陽気でした。(三日には小雨も降りましたが) 昨年は能登半島を震源とする大きな地震が発生したり、航空機事故が発生したりと、過去に例を見ないようなお正月になったことを思えば、とても静かな三箇日でした。印象的な事と言えばやはり、箱根駅伝での青山学院大学の二連覇、しかもまたまた新記録で優勝したことではないでしょうか。様々なハプニングにも遭遇しながら、選手だけでなく、控えの選手も監督、コーチも、家族や友人のみなさんも、チーム全員が心を一つにして、

まさに一丸となって取り組んだからこそ成し遂げられた記録。思わず特集番組をずっと見たいと思いました。言葉にするのはとても難しいことですが、とにかく『**勝つ**』ことに対する強い気持ちを持ち続けたこと、そしてそこに到達するための、ものすごい努力があったればこそその結果だったのです。もう一つ印象的だった出来事がありました。それは九区の給水でのこと。『**乾杯スタイル**』として色々なところで話題になっていたので目にした人もいたのではないかと思います。九区を走った主将の田中選手と給水を担当した片山さんは共に四年生。最後の箱根駅伝でした。同じ学年の仲間を信頼し、給水をお願いした田中キヤプテンとその願いを叶えるために必死に考えて実行した片山さん。お互いを信頼し励まし合いながらここまで来たからこそできることだったのではないのでしょうか。原監督の言葉、『**あんなの見たことない。ええかげんにしてくれよ!**』と思えますよね。それが言はずして**良いんです。**」なんだかとても素敵でした。南部中の先輩たちの中にも箱根路を走った先輩たちがたくさんいます。みなさんの中からもきつと、箱根駅伝を走る選手が出てくるのでしようね。自分の目標に向かって強い気持ちを持ち続けることを私自身も今年一年間忘れずに努力していきます。

【**三つのCを大切に……**】

三学期のスタートにあたり、必ず生徒のみ

なさんに伝えてきていることがあります。それは次の『**三つのCを大切に**』ということ。『**三つのC**』とはどんなことかというところ、

『**Chance(チャンス)**』『**Challenge(チャレンジ)**』『**Change(チェンジ)**』の三つのことです。

新しい年のスタートである今こそ、この**三つのC**を意識する絶好のタイミングなのではないでしょうか。自らを成長させていくためには、今までと同じ(前例踏襲)だけではダメな場合も多いのです。自らが成長するために何かを変えてみることに、新しいものに積極的にチャレンジしてみることが大切で、その絶好の機会が今なのではないでしょうか。

みんな自身が決めたそれぞれの目標、その達成のために何かをさらに変化させてみる、挑戦してみる、そのきっかけになってくれたらいいなと思います。

令和七乙巳年、じつはすなわち蛇の年です。

蛇は古来から神聖な存在として登場し、豊穡神や水神の使いと言われます。また、脱皮しながら成長し、傷を治癒する為「生命力」や「再生」の象徴とされてきました。幸運の象徴とも考えられ、屋敷内に蛇がいると財を得る、抜け殻を財布に入れておくと金運が上がるという俗信が日本各地に残されているそうです。そんな巳年。一人一人が**自らの目標をしっかりと持ち、その達成のために脱皮を繰り返しながら成長できる一年にしたいですね。**南中生全員に幸多き年であれ!!!